



かんおんじ

2023 / 令和 5 年

8

August

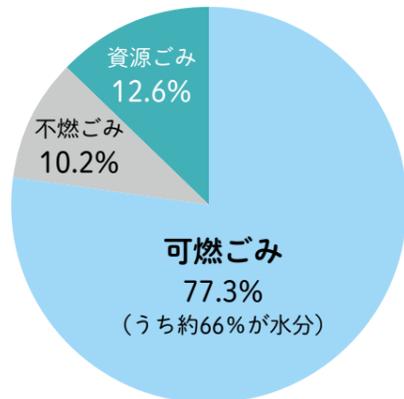
特集
ごみの捨て方減らし方

ごみ減量化元年から15年



市内の家庭ごみの割合

7割以上が可燃ごみです。可燃ごみを減らすことが、ごみの減量化と処理費用の削減につながります。



生ごみを減らそう!

生ごみ処理機・コンポストの購入助成制度

家庭から排出されるごみの減量化を促進するため、市では生ごみ処理機を購入される世帯（個人）に対し、費用の一部を補助します。

- 対象**
- ・生ごみを乾燥させる方式の処理機
 - ・生ごみを微生物に分解させる方式の処理機

補助額 購入金額の2分の1以内、上限2万円
(千円未満の端数は切り捨て)

問い合わせ先 生活環境課 リサイクル推進係



ごみではなく「資源」です



資源として再利用できるものを「可燃ごみ」「不燃ごみ」として捨てていませんか？「資源ごみ」として出すことで、ごみとして処分せずに済み、減量化につながります。観音寺市の『ごみ分別の手引き』は、ホームページからも確認できます。



このマークがついているものは「資源」です。可燃・不燃ごみ袋に混ぜないでください!



ごみを出さない工夫を

ごみになるものを減らそう

長く使えるものを選ぶ、買い物袋を持参する
食べ残しや消費期限切れの食材などを作らない

なんども繰り返し使おう

詰め替え商品を選ぶ、壊れたら修理して使う
使わなくなったらすぐに捨てず、必要な人に譲る

資源として利用しよう

「資源ごみ」は分別する

ごみ減量化元年から15年

ごみの捨て方 減らし方

観音寺市のごみ処理は、平成20年2月から綾川町の協力を得て、同町内にある民間処理施設（株式会社富士グリーン）に処理を委託しています。

平成20年度を「ごみ減量化元年」と位置づけ、新聞・雑誌ざつ紙・段ボール類の分別収集をはじめ、衣類、小型家電のボックス回収、これまで可燃ごみとして焼却処理をしていた廃プラスチック類を不燃ごみとして収集し、分別したものを固形燃料（RPF）化するなど、資源ごみとしてリサイクルし、市民の皆さんの協力のもと、ごみ

減量化や資源化に向けた取り組みを行ってきました。

ごみ減量化で大切なことは、**不要なものは買わない、もらわない、再使用できるものは繰り返し使用すること**です。再利用できるものは分別することでごみから資源へ生まれ変わります。これからも環境負荷を減らし、「ともに取り組み・参加する 資源循環のまちかんおんじ」を目指すため、ご協力をお願いします。

問い合わせ先 生活環境課 リサイクル推進係
☎25-2698 ☎25-2867

家庭ごみの収集量の変化

区分	年度	平成20年度	令和4年度	増減
可燃ごみ		13,264.33ト	9,764.00ト	△3,500.33ト 26%減▼
不燃ごみ		1,301.01ト	1,287.88ト	△13.13ト 1%減▼
資源ごみ		1,826.69ト	1,586.10ト	△240.59ト 13%減▼
合計		16,392.03ト	12,637.98ト	△3,754.05ト 22%減▼

いつも分別のご協力、ありがとうございます



リサイクル推進係 担当

この15年でごみの量は2割削減しましたが、人口も減少しているため、ごみが大幅に減少しているわけではありません。資源ごみの分別は進んでいますが、まだ可燃・不燃ごみに混在しているものも多くあります。これからも、ごみの分別、リサイクル、減量にご協力をお願いします。

収集員さんに聞きました

こんな「捨て方」がうれしいです

カラス、猫の被害対策を

ネットをしている集積所は多いですが、ただネットをかけるだけでなく、重しをするなど、集積所を荒らされない対策をお願いします。

生ごみの水気を切って

水分が多いごみ袋は収集車に入ると風船のように破裂し、収集員が汚れた水をかぶることも。水を切ることで袋が軽くなり、処理費も安くなります。

ごみ出しは朝8時まで

全てのごみは午前8時までに出ししましょう。出すのが遅くなり、収集車に直接ごみを入れる人がいますが大変危険です。収集員に手渡ししてください。

ペットボトルのキャップは外して！

ペットボトルは圧縮してリサイクル業者に渡しますが、キャップが付いたままでは圧縮できません。中は洗い、キャップは不燃ごみで出ししましょう。

スプレー、電池、ライターを袋に混在しない

可燃・不燃ごみの袋に混ぜて出すことで、収集車から出火する事故が数件起きています。スプレー缶は穴を開け、種類ごとにケースに分けて出ししましょう。

資源ごみの分別を

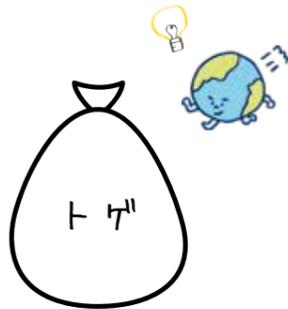
束ねた新聞紙の間に生ごみを挟んでいたたり、雑誌と紙ファイルが混在していたり、ビニール袋に入ったチラシをそのまま捨てたりしていることが多いです。分別の徹底をお願いします。

ごみ袋は片手で持てる重さに

一人で持てないほど重い袋や、袋をしっかり縛っていないためにごみが散乱することがあります。袋はできるだけ2重に縛り、適切な重さで出ししましょう。

尖ったごみには配慮を

尖ったものを捨てる時は注意！収集時のケガを防ぐため、竹串などは短く折って捨て、トゲがある枝の入った袋には「トゲ」と書くことと分かりやすいです。



いつも収集作業にご協力ありがとうございます。これから暑い時期になります。短時間でスムーズに収集できるよう、分別のご協力をお願いします！



可燃ごみの袋に、ペットボトルや缶、食品トレーなどが混じっていることや、軽トラ1台分くらいの剪定枝が出ていることがあります。ひどい場合は市のステッカーを貼り、収集はしません。収集する方が楽ですが、分別やごみの適正な量を分かっていただくために、やむを得ないと考えています。
ごみは午前8時までに出す決まりですが、収集車が来る大体の時間を予想して、後出しする方もいます。例えば不燃ごみの場合、3台でごみの種類ごとに集積所を何度も回っており、ビン収集が終わった後にビンごみを出されると、とても困ります。収集できないテレビや冷蔵庫が出されていることもあります。まずは、分別と出せないごみについて知っていただきたいです。



豊浜地区の収集を担当
株式会社サンクリーン
本岡 孝尚さん

薄いごみ袋の場合、引っ張るとすぐに破れてごみが散乱してしまいます。速やかに収集をするために、市の規定を満たした丈夫な袋で出してください。また、竹串や枝のトゲ、魚の骨などが袋から突き抜けてケガをすることがよくあるため、尖ったものは折り、袋に「トゲ」などと書いてもらえるとありがたいです。中には「トゲがあります」という張り紙をしてくれる人もいて助かります。
25年収集に携わっていますが、缶やびんの量が減った代わりに、ペットボトルやプラスチックごみが増えました。収集できるごみの種類が増えたので、分別方法が分かりにくくなり、収集員でも迷う時があります。市のごみ分別の手引きを見て、正しく分別をしていただきたいと思います。



大野原地区の収集を担当
有限会社丸富商会
富田 昌寿さん

10年収集に携わっています。収集日を間違えて出していたり、プラスチックごみの中に、タオルにくるんだフライパンや電化製品が入っていることもあります。その場合、分別のために収集作業が大きく遅れます。「ちょっとくらい分らないだろう」と思うかもしれませんが、この仕事をしていると袋を持つと分かります。
最近リチウム電池が増え、発火性が高いので、混在すると火災の原因になります。電池とライターは必ず分けて出してください。水分を含んだ生ごみは重く、車に入れた時に体に水がかかることも。水気を切ってお出してもらえると助かります。気温が高くなり、昨年は収集員が作業中に熱中症で危険な状態となりました。効率良く収集作業をするためにも、分別のご協力をお願いします。



観音寺地区の収集を担当
株式会社パブリック
田中 公晴さん